



理学部は工学部などに比べて就職が厳しいと聞きましたが、大学院まで進んだ場合はどうなのでしょう
か？



よく「理学部や理学研究科は就職“無理”学部」などと言われているようですが、断じてそんなことはありません。

大阪大学理学部および理学研究科では、数学・物理学・化学・生物科学の幅広い知識はもちろんのこと、複雑な自然現象を司る原理・原則、さらにそれを基盤とした論理的思考についてしっかりと学んだ上で、世界の最先端の研究を行っています。

企業でも新しい技術や製品の開発をする際には、複雑な事象の中から本質的な問題を抽出し解決する能力が求められます。企業への就職先については、工学部のように特定の業種に限定することはありませんが、理学部／理学研究科の卒業生は幅広い素養をもつ人材として多方面から期待されており、毎年たくさんの求人が全国の企業や国の機関、高等学校などから届き、巣立って行きます。

大阪大学では、理学部の卒業生の2～3割程度が企業や高等学校教諭などに就職し、残りの7～8割程度が大学院の博士前期課程(修士課程)に進学しています。

大学院博士前期課程の修了者(修士)の7割程度が企業や高等学校教諭や国家公務員などに就職し、1～2割程度が大学院の博士後期課程に進学しています。

博士後期課程で博士(理学)の学位を取得した方は、大学教員や研究所の研究員や企業の研究開発スタッフとして活躍しています。